

# あなたの行動で救える命があります

大田病院内科 常見 安史



スポン中に突然倒れ、そのまま亡くなってしまった。こんなニュースを耳にしたことはありませんか？ その原因の多くは、心室細動という心臓の病気、実は国内だけで年間5万人にものぼるといわれる脳突然死なのです。マリンなどのスポーツ中だけに起こるのではなく、家庭内、職場、デパート、遊園地、駅や空港など、場所を選ばず心臓突然死は起きているのです。

**AEDとは？**  
AED(自動体外式除細動器)とは電気ショックが必要な心臓の状態を判断できる心臓電気ショックの機械です。突然死の原因のひとつは心臓疾患です。それを心臓突然死といいますが、その大部分は心室細動という病気で、心室細動にな

ると心臓がけいれんし、10分後にはほとんどの人が死に至ります。この心室細動を正常な状態に戻す唯一の方法は除細動(心臓への電気ショック)です。そこで、早期の除細動ができるAEDの使用が必要となり、着払いの除細動は社会復帰の鍵にもなります。AEDを自宅、学校、職場、たぐさんの人が集まる公共の施設などさまざまな場所に置き、AEDを使っている、突然死を防ぐことができるのです。AEDは除細動が必要かを判断し、救命の手順を音にて指示します。AEDは除細動を含め



電源を入れる。  
パッド(電極)を張る。  
機械が自動で電気ショックが必要かを判定。  
ショックが必要と判定される

**使い方？**  
指示されたボタンを押す。  
電極を張る位置はパッドに書いてあります。その通りに張ればOKです。この機械を使うのに資格はいりません。誰でも簡単に使えます。  
**リミットは**  
わずか10分間

電気ショックは心室細動であれば、どんなときでも成功するものではありません。時間との勝負です。1分1秒でも早く電気ショックを行うことが重要



です。電気ショックの成功率は成功の可能性が1分ごとに7~10%低下します。日本では、救急車の到着まで平均約6分です。グラフから見ると、6分時の成功率は40%です。救急車が到着する前に傷病者の近くにいる私たち一般市民(バイスタンダー)が、AEDを使用して電気ショックをできるだけ早く行うことが重要になります。  
\*成功率:ここでは生存して退院する可能性をいいます。

## がんばりなれど、かぞか

by 田 七 菜

## 「第5回品川健康まつり」のご案内

平和で、いつでもどこでも安心してかかれる医療・福祉・介護といったまでも住みつけられるまちづくりをめざして、今年も品川で健康まつりを行います。安心と平和の輪をいっそう、ひろめていきましょう。

日時 **5月19日(土) AM 11:00 ~ PM 3:00**  
会場 **戸越公園**  
企画 健康チェック、医療相談、文化企画、フリ・マ・ケット...  
その他楽しい企画が盛りだくさん

連絡先 ゆたか病院 3781-4723  
三ツ木診療所 3779-0031  
城南保健衛生協ゆたかの家 5751-0946



昨年の品川健康まつり

### 成功の可能性が1分ごとに7~10%低下

時間(分)	生存率(%)
0	100
1	90
2	80
3	70
4	60
5	50
6	40
7	30
8	20
9	10

- 1 発見した時点で 意識の確認
- 2 助けを呼ぶ
- 3 呼吸の確認 胸に手をよせ、目には目を閉じて、呼吸の確認をします。
- 4 呼吸が停止すれば、2回の人工呼吸
- 5 全身体を動かさず仰向けに、15回の心臓マッサージ
- 6 AEDで電気ショック

これから!! 従来の心臓蘇生法に加えて、AEDが使用できます。

救急車が到着するまで救命活動を続けましょう